

J-WAVE GOLDEN WEEK SPECIAL
WORLD HAPPINESS & SMALL PEACE

5.3 TUE. 9:00~17:55
ON AIR

TOKYO M.A.P.Sと完全連動したスペシャルプログラムをJ-WAVEでオンエア!

J-WAVE 81.3FMでは、TOKYO M.A.P.S初日の5月3日(火)、特別番組「WORLD HAPPINESS & SMALL PEACE」をオンエア。DJ TAROをナビゲーターに、東日本大震災で被災された方々へ「支援」と、東京に暮らす人々へ「日常」の温かさをお送りするプログラムです。プログラム・オーガナイザーの高橋幸宏さんをはじめ、TOKYO M.A.P.Sに出演するアーティストが続々登場、六本木ヒルズアリーナからの生中継もお届けします。また高橋幸宏さんがYellow Magic Orchestraとして出演する野外フェスティバル「WORLD HAPPINESS 2011」の参加アーティストもゲスト出演します。



ナビゲーター:DJ TARO

ご来場の皆様へ

このたびの東日本大震災で被災された皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。
TOKYO M.A.P.Sは、音楽によって一人でも多くの方々がひと時でも笑顔になれる
よう思いを込めて、今年も開催致します。会場には、東日本大震災被災地支援のため
の募金箱を設置します。お預かりした支援金は主催者が責任を持って
JustGiving Japanを通じ、被災地支援団体CIVIC FORCEに送金します。
東京から安らぎと元気を発信し、微力ながら復興支援の一助になればと願っています。

J-WAVE 81.3FM & Roppongi Hills

www.tokymaps.jp [@TOKYOMAPS](https://twitter.com/TOKYOMAPS)

開催期間: 2011年5月3日(火・祝)~5月4日(水・祝)
主 催: 森ビル株式会社 J-WAVE 81.3FM
会 場: 六本木ヒルズアリーナ
入 場 料: 無料
※荒天時はプログラム変更および中止になる場合がございます。

access/information

- 地下鉄:
東京メトロ日比谷線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約5分
都営大江戸線「六本木駅」よりアリーナまで徒歩約10分
都営大江戸線「麻布十番駅」よりアリーナまで徒歩約5分
- 車:
首都高速飯倉ランプ、四ヶ間ランプから10分 駐車場: 2,762台完備
- お問い合わせ: 六本木ヒルズ総合インフォメーション
TEL: 03-6406-6000



J-WAVE & Roppongi Hills present

**TOKYO
M.A.P.S**

YUKIHIRO TAKAHASHI EDITION

2011.5.3^{TUE}-4^{WED}
@ Roppongi Hills Arena

TOKYO M.A.P.S とは

六本木ヒルズとJ-WAVEがコラボレーションして毎年ゴールデンウィークに開催するフリーライブイベントです。開催毎に、豊かな世界観を持ったアーティストをプログラム・オーガナイザーとして迎え、音楽、アート、パフォーマンスなど様々な表現を発信していきます。4回目の開催となる今年は、高橋幸宏さんが六本木ヒルズをキャンバスに「東京の地図」を描き出します。

CONCEPT

それはまさに「東京が発信する地図」です。
その地図には道も場所も記されていません。
しかも一枚ではありません、紙ですらありません。
その地図はMusic, Art, Performance の地図です。
そのM.A.Pが複数(5)集まり、
Showcaseの中でSpecialなSessionするSeries。
それがTOKYO M.A.P.Sです。
「手に入れろ! 感動の地図を!」

YUKIHIRO TAKAHASHI EDITION WORLD HAPPINESS & SMALL PEACE ~音楽で、ちいさな安らぎを~



photo/高橋幸宏

高橋幸宏 PROFILE

1972年、Sadistic Mika Bandに参加。1978年、細野晴臣、坂本龍一とともにYellow Magic Orchestra(Y.M.O.)を結成、国内外に大きな影響を残したが、1983年12月をもって「解散」。ソロ活動と併行して鈴木慶一(ムーンライダーズ)とのTHE BEATNIKSとしても活動。また、2001年には細野晴臣とSKETCH SHOWを結成し、2004年以降は坂本龍一も加入。RIHAS, HASYMO, Yellow Magic Orchestraなどバンド名を使い分け不定期に活動中。2008年、原田知世、高野寛、高田達、堀江博久、権藤知彦とバンドpupa(ピューパ)を結成。ソロとしては、1978年のアルバム「Sarahav」以来、2009年発表の「Page By Page」まで通算22枚のオリジナル・アルバムを発表している。音楽家としての顔を持つ一方、ファッション・デザイナーとしても長いキャリアを持つ。

プログラム・オーガナイザー
高橋幸宏 Yukihiro Takahashi

5.3 TUE		5.4 WED	
コトリシゴ 13:00~		4 bonjour's parties 13:00~	
mito 14:00~		高野寛 14:00~	
トクマルショーゴ 15:00~		リリー・フランキー 15:00~	
坂本美雨 16:00~		キリンジ 16:00~	
安藤裕子 17:00~		清竜人 17:00~	
			曾我部恵一 18:00~
			小坂忠 19:00~
TYTYT (高橋幸宏+宮内優里+高野寛+権藤知彦) 19:00~			
20:00			

TIME TABLE



コトリシゴ

うれしそうに笑みを泐め、丁度初めての約略である。神戸の中国陶磁器店を営む、ボストンのバークリー音楽院院長のシニア作曲家。演曲/ピアノ・ヴァイオリニスト。90年代本格一プロデュースでテナントへ連絡したピアノ演奏と柔らかな歌声で浮遊感に満ちたポップ・ワールドを織りだす女性シンガーソングライターとして各方面から注目を浴びている。昨年9月に邦楽カバーの「picnic album 1」、今年1月には洋楽カバーの「picnic album 2」をリリースしたばかり。
[http://www.10do.jp/kotiringo/](http://www.10do.jp/kotoringo/)

mito(クラムボン)

クラムボンのバンリマスターとして、ベース、ギター、キーボードなどを担当。クラムボンのひとの楽曲はmitoによるものである。自身のバンド以外にて、楽曲提供・演奏、プロデューサー、ミキシングまでを自身で手掛けるステージではソロ、トリオ、セクストettet等、様々な編成とアレンジを使い分けながら、録音とは異なる迫力で音楽を奏でる。歌、身体、身体をテーマによる独自のボックスを追求しながら、その音楽は欧米やアジア各国でも高い評価を得ている。ソロ活動に加え、おはたは猪一どりおお川としてのユニット活動や様々なアーティストを旅館、日本語劇による音楽活動をスタートし、アルバムを発表。同時に、これまで mitoが手掛けた数々の参加作品を2枚にコンパイルした「mito archive 1999-2010」も発表。



トクマルショーゴ

東京都出身。04年のデビュー以来、これまでに4枚のフル・アルバムを発表。作詞、作曲、アレンジ、演奏、レコーディング、ミキシングまでを自身で手掛ける。ステージではソロ、トリオ、セクストettet等、様々な編成とアレンジを使い分けながら、録音とは異なる迫力で音楽を奏でる。歌、身体、身体をテーマによる独自のボックスを追求しながら、その音楽は欧米やアジア各国でも高い評価を得ている。ソロ活動に加え、おはたは猪一どりおお川としてのユニット活動や、シェッジジョンソンの移住じゅにあとのユニット「NAKED LAMP」としても活動。映画評論やエッセイの執筆、ナレーション等の他、舞台への出演など、マルチに活躍中。11年5月18日、ニューアルバム「HATSUKOI」をリリース。

坂本美雨

5月生まれ。9歳の時、家族でニューヨークに移住。97年1月、Ryuichi Sakamoto featuring Sister M.名義でデビュー。10年5月、アルバム「PHANTOM girl」をリリース。2010年8月よりライブイベント「坂本美雨 presents DIRECT Musical」をスタート。「歌、習う、身体」をテーマによる独自のボックスを追求しながら、その音楽は欧米やアジア各国でも高い評価を得ている。ソロ活動に加え、おはたは猪一どりおお川としてのユニット活動や、シェッジジョンソンの移住じゅにあとのユニット「NAKED LAMP」としても活動。映画評論やエッセイの執筆、ナレーション等の他、舞台への出演など、マルチに活躍中。11年5月18日、ニューアルバム「HATSUKOI」をリリース。

5・4 WED



安藤裕子

シンガーソングライター。03年ミニアルバム「Gallerie」でデビュ。セカンドアルバム「Merry Andrew」に収録された「うるせんかつら」が日本版のTV CMで起用されヒットを記録。最新フルアルバム「JAPANESE POP」は、音楽専門誌が選ぶくベスト・アルバム2010年のJ-POP賞。歌詞曲解説欄に選ばれた高い熱量と甘やかな歌詞を絶妙なバランスで混在させ、心の内を掘り出し、そのまま丁寧な作品づくりにも定評がある。ジャケットデザインからスタイリング、ヘアメイク、MUSIC VIDEOの監修まで全てこなしなし。他のアーティストへの寄稿提供などマルチな活動で、最もは目立つ高いアーティストの一人である。



TYTYT

(高橋幸宏+宮内優里+高野寛+権藤知彦)

10年秋、あるイベントをきっかけに高橋幸宏、宮内優里、高野寛、権藤知彦の4人で結成。アコースティックとエレクトロニカがミックスした、フォートロニカ以外の新しいオルタナティヴ・ポップ・ユニット。



高野寛

音楽家。88年、高橋幸宏プロデュースによるシングル「See You Again」でデビュー。代表曲は「虹の節」へ「ペステンダンク」と共にトッド・ラングレンのプロデュースなど、ソロ活動と並行してギタリスト/プロデューサーとしても多くのプロジェクトに参加。ナチューラ・ワイス、GANGA ZUMBA、pupa等、バンド活動も精力的に。ソロデビュー20周年を記念してリリースされるという快挙も成し遂げ、その後も台湾最大の野外フェスティバルFormoz Festival出演や、オーストラリアツアーなど積極的に海外での活動も広げる。10年に2ndアルバムをリリース。

リリー・フランキー

音楽家。88年、高橋幸宏プロデュースによるシングル「See You Again」でデビュー。代表曲は「虹の節」へ「ペステンダンク」と共にトッド・ラングレンのプロデュースなど、ソロ活動と並行してギタリスト/プロデューサーとしても多くのプロジェクトに参加。ナチューラ・ワイス、GANGA ZUMBA、pupa等、バンド活動も精力的に。ソロデビュー20周年を記念してリリースされるという快挙も成し遂げ、その後も台湾最大の野外フェスティバルFormoz Festival出演や、オーストラリアツアーなど積極的に海外での活動も広げる。10年に2ndアルバムをリリース。



キリンジ

96年10月、堀込高行(Vo/Gt), 堀込高樹(Gt/Vo)の実兄弟でキリンジ結成。多くのアーティストからリスペクトが絶えない確立されたシンガーソングライターとしてのスタイル。スウィートに掠り上げられるメロディー+マイナーニュアンスから個性界。兄弟ならではのハーモニーと洗練されたサウンドプロデュクションで聴く「キリンジ・ワールド」。10年はキリンジ8枚目のアルバム「BUOYANCY」をリリース。24曲目25公演の全国ツアーや大盤況のうちに終了。11年5月9日にはヒルボーライブ東京でのワンマンLIVEを決定している。

曾我部恵一

シンガーソングライター。1989年5月27日生まれ。大阪府出身。15歳から独学でオリジナル曲を書き始める。09年3月、20歳以上の新章の始まり。シングル「Morning Sun」、「au Smart Sports」CMソングでデビュー。以来2枚のアルバムによつて新たな代謝の音楽家としての評価を確立。ミュージシャンから支持の声も多い。11年は他アーティストへの楽曲提供も活動の幅を広げながらも、4月13日に3rdアルバム「PEOPLE」をリリース。6月には全国ツアーが開催される。

小坂忠

音楽家。日本ロック界の草分け的シンガー&ソングライター。66年ロイ・クーフループ「ザ・フローラル」を結成し68年デビュー。その後、結婚相手とともに「エイブルフル」を結成。72年には「ワーナー・ハーフ」を結成。75年には名曲ソロアルバム「HORO」をリリース。76年クリスマスソング「HORO」が大ヒット。78年日本初のコスベルミュージックレコードを設立。06年、ミュージシャンとして復帰して以来、歩みを重ねた。また、ソロ活動、出版、08年、テレビ「42年間、運営を務めた『トマト』」が放送。10年、BOXセット「Chu・Goro」発売。10月「OBSESSION」をリリース。R&B、コスヘルミュージックの範囲にあり且直進なシンガーIT、多くのミュージシャンに影響を与えた。



コトリシゴ

うれしそうに笑みを泐め、丁度初めての約略である。神戸の中国陶磁器店を営む、ボストンのバークリー音楽院院長のシニア作曲家。演曲/ピアノ・ヴァイオリニスト。90年代本格一プロデュースでテナントへ連絡したピアノ演奏と柔らかな歌声で浮遊感に満ちたポップ・ワールドを織りだす女性シンガーソングライターとして各方面から注目を浴びている。昨年9月に邦楽カバーの「picnic album 1」、今年1月には洋楽カバーの「picnic album 2」をリリースしたばかり。
<http://www.10do.jp/kotiringo/>



TYTYT

(高橋幸宏+宮内優里+高野寛+権藤知彦)



トクマルショーゴ

クラムボンのバンリマスターとして、ベース、ギター、キーボードなどを担当。クラムボンのひとの楽曲はmitoによるものである。自身のバンド以外にて、楽曲提供・演奏、プロデューサー、ミキシングまでを自身で手掛ける。ステージではソロ、トリオ、セクストettet等、様々な編成とアレンジを使い分けながら、録音とは異なる迫力で音楽を奏でる。歌、身体、身体をテーマによる独自のボックスを追求しながら、その音楽は欧米やアジア各国でも高い評価を得ている。ソロ活動に加え、おはたは猪一どりおお川としてのユニット活動や、シェッジジョンソンの移住じゅにあとのユニット「NAKED LAMP」としても活動。映画評論やエッセイの執筆、ナレーション等の他、舞台への出演など、マルチに活躍中。11年5月18日、ニューアルバム「HATSUKOI」をリリース。



坂本美雨

5月生まれ。9歳の時、家族でニューヨークに移住。97年1月、Ryuichi Sakamoto featuring Sister M.名義でデビュー。10年5月、アルバム「PHANTOM girl」をリリース。2010年8月よりライブイベント「坂本美雨 presents DIRECT Musical」をスタート。「歌、習う、身体」をテーマによる独自のボックスを追求しながら、録音とは異なる迫力で音楽を奏でる。歌、身体、身体をテーマによる独自のボックスを追求しながら、その音楽は欧米やアジア各国でも高い評価を得ている。ソロ活動に加え、おはたは猪一どりおお川としてのユニット活動や、シェッジジョンソンの移住じゅにあとのユニット「NAKED LAMP」としても活動。映画評論やエッセイの執筆、ナレーション等の他、舞台への出演など、マルチに活躍中。11年5月18日、ニューアルバム「HATSUKOI」をリリース。